

4. 事業内容

4.1 整備事業箇所



4.2 事業内容

NO.	河川名	事業箇所	市町	事業年度	整備内容	事業費 (百万円)
①	吉井川	吉井川利用推進事業 【瀬戸箇所】	岡山県 瀬戸町	H12~14	親水性を向上させる水辺 の整備	290
②	吉井川	吉井川利用推進事業 【豆田箇所】	岡山県 瀬戸内市	H13~15	空間利用を高める高水敷 の整備	200
③	吉井川	吉井川利用推進事業 【新地箇所】	岡山県 岡山市	H13~14	砂浜を回復させる水辺の 整備	142
④	吉井川	吉井川利用推進事業 【熊山箇所】	岡山県 赤盤市	H16~17	くまやま水辺の楽校	110
⑤	吉井川	吉井川利用推進事業 【西大寺箇所】	岡山県 岡山市	H18	連続性を向上させる整備	80
⑥	吉井川	吉井川自然再生事業 【万富箇所】	岡山県 瀬戸町	H18~23	エコロジカルネットワーク	300
⑦	吉井川	吉井川利用推進事業 【田原箇所】	岡山県 和気町	計画中	地域の拠点となる水辺の 整備	100
⑧	吉井川	吉井川利用推進事業 【西大寺箇所】	岡山県 岡山市	計画中	水辺へのアクセス向上の 整備	150

青字：完成又は事業中（①～⑥）

赤字：計画中（⑦～⑧）

4.3 整備事例

②豆田箇所（高水敷）（H13～15年度）

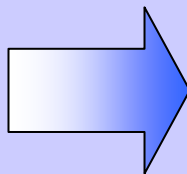
都市近郊ブロック

- ・ 事業費 ： 200百万円
- ・ 整備内容：親水護岸、階段、坂路、散策路、高水敷整正等
- ・ 整備によって河川敷内へのアプローチを改善しており、河川敷及び水域でのスポーツやレクリエーション等の利用を高める空間整備となっている。
- ・ イベント利用が盛んであり、「瀬戸内バルーンフェスティバル」などが開催されている。

整備前



水辺への親水性が少なく、高水敷の整備がされておらず、スポーツやレクリエーションなどの利用が困難である



利用状況



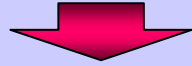
自治体により遊具などが設置されより多くの利用が見られた



中・四国で唯一のバルーン大会である「瀬戸内バルーンフェスティバル」等のイベントも開催されている

◆地域と連携した整備（くまやま水辺の楽校）

子ども水辺協議会の設立 平成14年11月
 「子ども水辺」に登録 平成14年12月



くまやま水辺の楽校推進協議会の設立 平成15年11月

組織

- ・学校関係者(先生・保護者)
- ・地域自治団体(自治体・町内会)
- ・地域活動団体(公民館)
- ・河川管理者

平成18年1月まで
 6回の協議会を開催し、
 整備内容を検討した。

「水辺の楽校」作成

整備内容

安全に水辺に近づける 利用しやすい(人が集まる)計画



「水辺の楽校」に登録 平成16年3月
 熊山箇所(くまやま水辺の楽校)

くまやま水辺の楽校開校 平成18年5月

要望事項(環境学習・利便性・河川環境)

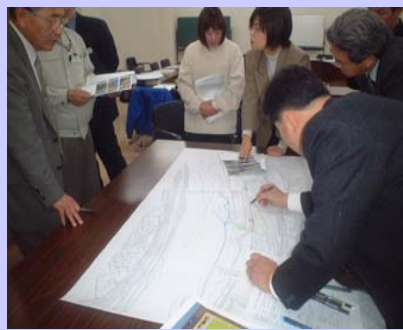
- ・低水敷に小川
- ・堤防の緩傾斜化
- ・雑木の伐採
- ・遊歩道(無舗装)
- ・駐車場の拡大
- ・石の河原
- ・木陰を設ける
- ・ベンチ、階段、トイレの設置



水際部が狭くアクセスが困難



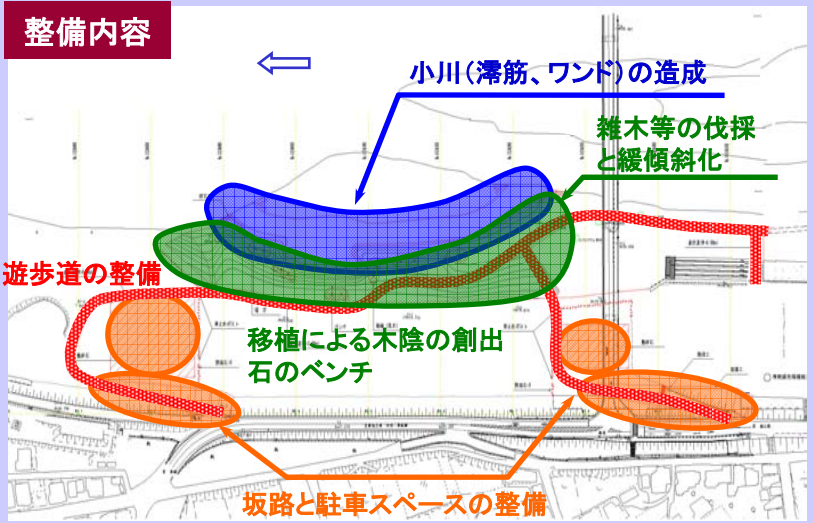
現地調査により課題を確認



整備要望等を把握



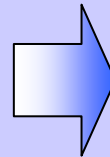
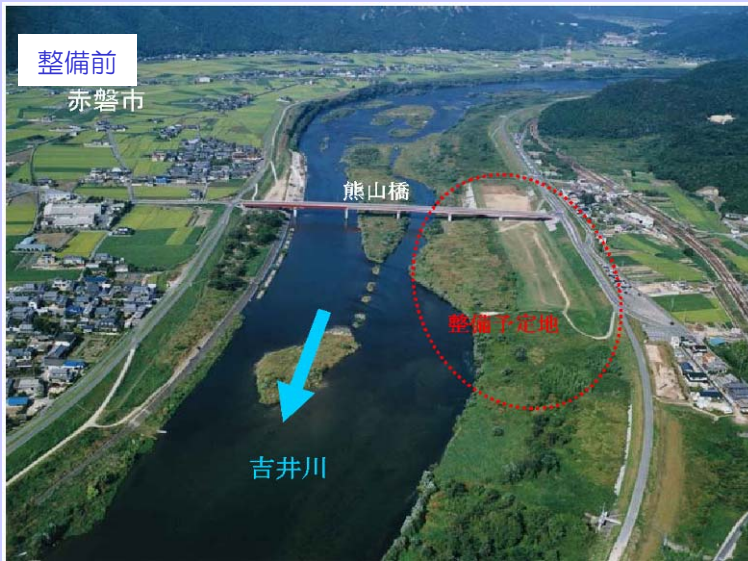
維持管理等の確認



④熊山箇所（くまやま水辺の楽校）（H16～17年度）

田園ブロック

- ・ 事業費 : 110百万円
- ・ 整備内容 : 坂路、高水敷整正、緩傾斜法面、散策路、階段
- ・ 環境学習の場や水辺へアプローチする際の利便性の向上をという地域の要望の高まりを受け、学校関係者、地域自治体、地域活動団体、河川管理者によって、平成15年に「くまやま水辺の楽校推進協議会」が設立され、「くまやま水辺の楽校」が整備された。



植生が密生しており、水辺へ近づきにくい

環境学習などに利用されている

⑥万富箇所（エコロジカルネットワーク）（H18～23年度）

田園ブロック

- ・ 事業費 : 300百万円
- ・ 整備内容 : 水域の連続性
- ・ アユモドキの生息環境保全・産卵環境の創出を図るため、学識経験者や関係機関からなる「アユモドキ保全活用検討委員会」が設置され、保全活動について指導・助言を受けている。また、隣接する麒麟ビール 岡山工場では、アユモドキの稚魚の展示を行うなど、地域や企業が連携して事業を進めている。

アユモドキ減少の主な要因



人間社会との共存



外来種による捕食



水路整備による生息場所の減少



瓜生川の横断工作物

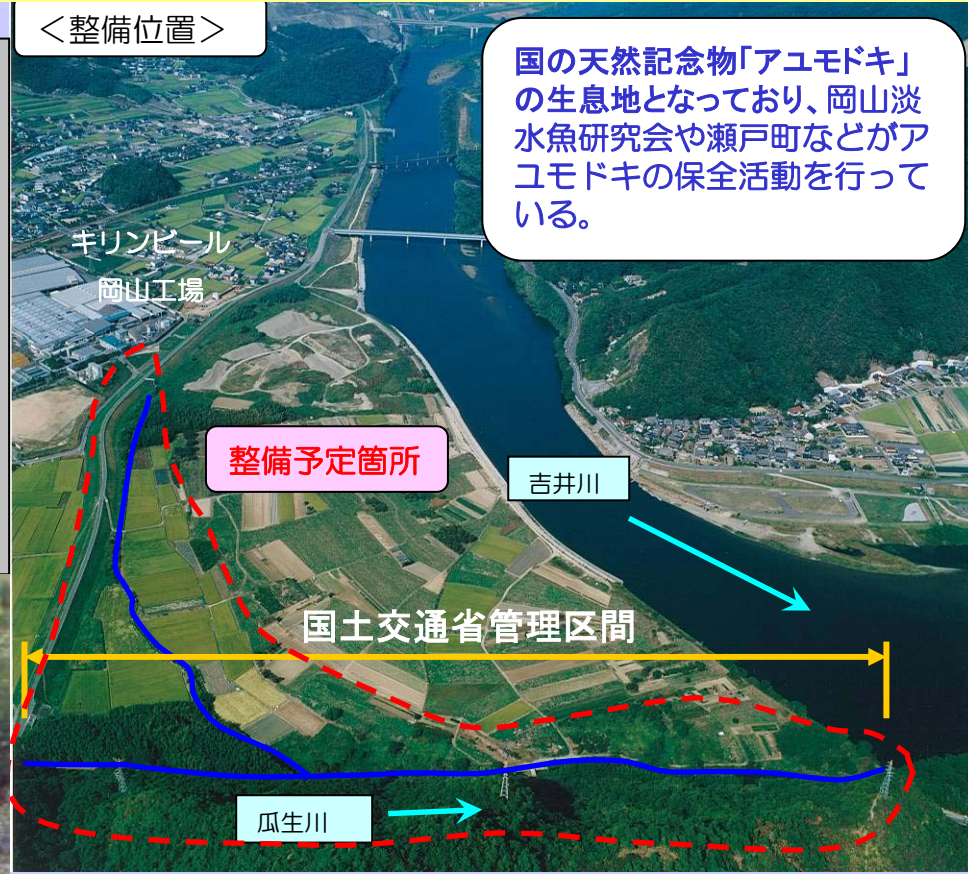
アユモドキはドジョウのなかまで、泳いでいる姿がアユに似ていることから、この名前がついた。

琵琶湖淀川水系と岡山県の旭川・吉井川水系だけに分布している。



群れるアユモドキ

<整備位置>



国の天然記念物「アユモドキ」の生息地となっており、岡山淡水魚研究会や瀬戸町などがアユモドキの保全活動を行っている。

整備予定箇所

吉井川

国土交通省管理区間

瓜生川